

中央防災会議 防災対策実行会議
南海トラフ沿いの地震観測・評価に基づく防災対応検討WG

南海トラフ沿いの大規模地震の 予測可能性に関する調査部会 (第1回)

議 事 次 第

日時：平成28年9月26日（月）10:00～12:00
場所：中央合同庁舎8号館3階 災害対策本部会議室

1. 開 会 2. 議 事

- (1) 調査部会の設置と検討内容について
- (2) 調査部会報告書（平成25年公表）の改訂方針について
- (3) 平成25年以降に得られた新たな科学的知見
 - ・ ゆっくり地震とプレート運動のゆらぎ 確率評価への応用可能性
井出 哲 東京大学大学院理学研究科 教授
 - ・ 地震モデルとシミュレーションから得られた科学的知見
堀 高峰 海洋研究開発機構グループリーダー
- (4) 震源域で見られる現象と防災への活用を視野に入れたその評価
- (5) 南海トラフで見られる現象のモニタリング

3. 閉 会

(配付資料)

- 資料1 「南海トラフ沿いの地震観測・評価に基づく防災対策検討WG」の論点
- 資料2 「南海トラフ沿いの大規模地震の予測可能性に関する調査部会」の設置について
- 資料3 「南海トラフ沿いの大規模地震の予測可能性に関する調査部会（報告）」改訂の目次案
- 資料4-1 「南海トラフ沿いの大規模地震の予測可能性に関する調査部会（報告 別冊）」に対する平成25年以降に得られた科学的知見の加筆（案）
- 資料4-2 報告書別冊の加筆に関する引用文献一覧
- 資料5 ゆっくり地震とプレート運動のゆらぎ 確率評価への応用可能性（井出委員提供資料）
- 資料6 地震モデルとシミュレーションから得られた科学的知見（堀委員提供資料）
- 資料7 南海トラフの震源域で見られる現象と防災への活用を視野に入れたその評価
- 資料8 南海トラフで見られる現象のモニタリング